

平成29年度

広野町中学生海外教育交流派遣事業報告書

カナダブリティッシュコロンビア州

(ケロウナ市・バンクーバー市)

平成29年8月16日(水) ～ 8月23日(水)



広野町教育委員会学校教育課

目 次

◆ はじめに	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
◆ 派遣団員名簿	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
◆ 派遣事業経過	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
◆ 派遣事業行程表	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4～6
◆ 事前研修会	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7～9
◆ 結団式	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
◆ カナダ研修報告	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11～29
◆ 事後研修会	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30～31
◆ 国際フォーラム	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32～33

平成29年度 広野町中学生海外教育交流派遣事業報告

1 はじめに

日頃より、本町における復興施策への御支援、御協力を賜っておりますことに対して厚くお礼申し上げます。

さて、中学生海外教育交流派遣事業につきましては、次世代を担う中学生を海外に派遣し、外国の文化、歴史、生活、風土等に接することで、外国の人々との相互理解と国際協調の精神を養い、国際的感覚の豊かな人材育成のため、平成9年度から平成13年度までの5年間実施し、その後一定期間中断しておりました。東日本大震災後の平成26年に、町議会、中学校並びに保護者の皆様方の御理解のもと、本事業を再開したところであります。

本年度につきましては、昨年度に引き続き、カナダ国を派遣国に選定し、生徒・引率併せて21名の派遣団を編成し、ケロウナ市を中心として、8月16日から8月23日までの6泊8日間で実施いたしました。

派遣に先立ち、異文化と英語に慣れて貰うことを目的に、多様な文化を持った留学生と直に触れ合うなどの事前研修を行いました。生徒たちは皆、真剣に研修に取り組んでおりました。

事前研修の成果もあり、派遣先におきましては、ホームステイに加え、「異文化コミュニケーションプログラム」として、カナダで移民として活躍する日本人夫妻の訪問、同世代カナディアンバディとの交流、さらには、日本企業「リステルカナダ」を訪問などに際し、積極的にコミュニケーションを図ることができ、多岐にわたる体験活動を有意義なものとすることができました。

帰国後は、国際フォーラムでの発表に向け、事後研修を実施いたしました。フォーラム当日は、生徒一人ひとりが、それぞれカナダでの貴重な体験を通して学んだこと、感じたこと、考えたことなどを臆することなく自信を持って発表しており、海外研修事業を通して成長した姿を存分に披露していました。

これら一連の海外研修事業の実施にあたりましては、高瀬校長先生はじめ、諸先生方のご尽力の賜であり、心より感謝を申し上げます。

生徒たちは、この度のカナダでの体験で、積極的に一歩前に出て交流することの大切さを学んだことと思います。今後、自らの夢や希望を切り拓いて行く上で、限りない力となることを期待します。

結びに、今回の派遣事業に際し、ご協力いただいた広野中学校、そして保護者の皆様のご理解とご協力に心より感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。

広野町中学生海外教育交流派遣事業

団 長 坂本 淳

派遣団員・役員名簿

No.	所属	生徒氏名	ふりがな	性別	備考
1	広野中2年	荒川 礼奈	あらかわ れな	女	
2	広野中2年	猪狩 颯人	いがり はやと	男	
3	広野中2年	猪狩 大樹	いがり ひろき	男	
4	広野中2年	大和田 光河	おおわだ こうが	男	
5	広野中2年	黒田 明日香	くろだ あすか	女	
6	広野中2年	小林 慎翔	こばやし まなと	男	
7	広野中2年	坂本 峻太郎	さかもと しゅんたろう	男	
8	広野中2年	坂本 颯太	さかもと そうた	男	
9	広野中2年	坂本 侑汰	さかもと ゆうた	男	
10	広野中2年	佐藤 那奈	さとう なな	女	
11	広野中2年	鈴木 健太	すずき けんた	男	
12	広野中2年	鈴木 陽斗	すずき はると	男	
13	広野中2年	根本 陸	ねもと りく	男	
14	広野中2年	水野 航希	みずの こうき	男	
15	広野中2年	矢内 大誠	やない たいせい	男	
16	広野中2年	渡辺 初実	わたなべ はつみ	女	
17	教育次長	坂本 淳	さかもと あつし	男	団長
18	広野中校長	高瀬 永志	たかせ ひさし	男	副団長
19	広野中教諭	寺島 拓也	てらしま たくや	男	クラス担任
20	事務局	秋田 尚志	あきた たかし	男	
21	事務局	根本 環	ねもと たまき	女	

派遣事業の経過

月 日	曜日	内 容	参 加 者
7月25日	火	【事前研修会】 広野町公民館大会議室 <input type="checkbox"/> 異文化理解ワークショップ ～海外研修において、参加者一人一人が学びを充実させるためのヒントを伝え、自分自身を表現するワークショップを通じて学びを深める～ <input type="checkbox"/> 現地訪問先について学ぶ <input type="checkbox"/> 留学生との異文化交流 ～外国人留学生との交流を通じ、海外で学ぶ意味を考える～	派遣中学生
8月10日	木	【結団式】 広野町役場会議室 <input type="checkbox"/> 任命書交付 <input type="checkbox"/> 広野町長あいさつ <input type="checkbox"/> 引率者紹介 <input type="checkbox"/> 激励の言葉 <input type="checkbox"/> 派遣社代表あいさつ ・引率者代表 広野中学校長 高瀬 永志 ・生徒代表 荒川 礼奈	派遣中学生 派遣中学生の保護者 派遣同行職員
8月16日 ～ 8月23日	水 ～ 水	【派遣先：カナダBC州ケロウナ、バンクーバー6泊8日】 <input type="checkbox"/> 出国 <input type="checkbox"/> 帰国	派遣中学生 派遣同行職員
10月7日	土	【事後研修会】 <input type="checkbox"/> カナダ派遣の振り返り（グループワーク） <input type="checkbox"/> 国際フォーラム発表原稿作成 <input type="checkbox"/> 国際フォーラムに向けた発表練習	派遣中学生
10月15日	日	【国際フォーラム】 ～広野町中学生海外研修報告会～ <input type="checkbox"/> プログラム説明 <input type="checkbox"/> 海外留学生とのグループディスカッション <input type="checkbox"/> グループ発表（4グループ） <input type="checkbox"/> ファシリテーター講評	派遣中学生

平成29年度 広野町中学生海外教育交流派遣事業 行程表

派遣先 カナダ・ブリティッシュコロンビア州 ケロウナ・バンクーバー
派遣期間 平成29年8月16日(水)～8月23日(水) 8日間

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	行程	食事
1	8/16 (水)	広野町発 成田空港着 成田空港発 バンクーバー空港着 バンクーバー空港発 バンクーバー	15:00 19:30 21:50 14:45 16:30 17:30	貸切バス NH0116	貸切バスで羽田空港へ 途中 SA を経由し、空港へ 羽田空港到着後、出国手続き 空路、バンクーバーへ バンクーバー空港到着、入国手続き 荷物受取後、バス移動にて市内へ スーパーマーケットで夕食の買い出し 終了後、ホテルへ ホテル到着	朝:× 昼:×各自 夕:○機内 朝:○機内 昼:○機内 夕:各自 〈ホテル泊〉
2	8/17 (木)	バンクーバー バンクーバー空港着 バンクーバー空港発 ケロウナ空港着 ケロウナ空港発 ケロウナ	6:30 7:00 9:10 10:07 11:00 12:00	AC8398 専用車	ホテルを出発し、バンクーバー空港へ バンクーバー空港到着後チェックイン手続き 空路、ケロウナへ ケロウナ空港到着後、荷物受取 バス移動にてケロウナ市内へ □オリエンテーション 1. ケロウナの町の歴史・文化・風土・気候などの を学ぶ 2. ケロウナ滞在中の注意事項や諸連絡 オリエンテーション終了後、昼食 昼食後、荻農園に向けて出発 □STEP1 異文化コミュニケーション① ～カナダで移民として暮らす日本人から学ぶ～ ケロウナにて野菜等を生産・直売する農園を経営 する荻夫婦を訪ね、移民としてひたむきに切り拓 いてきた暮らしについて話を伺い、広大な農地で 実際に作業体験 終了後、グループワーク(振り返り学習) 終了後、ホストファミリーと対面し、ステイ先へ 〈ホームステイ泊〉	朝:○ホテル 昼:○ ケータリング 昼:○ バックランチ 夕:○ ホームステイ先

3	8/18 (金)	ケロウナ	午前	ホストファミリー送迎	指定場所に集合 専用バスでケロウナ市内観光	朝：○ ホームステイ先
				専用車	ケロウナダウンタウンのファーストフード店やカフェで各自昼食 昼食後、カナディアンバディと対面し、デイビソン・オーチャード・ファームへ移動	昼：×各自
			午後	ホストファミリー送迎	デイビソン・オーチャード・ファームにてバディとアクティビティ □STEP2 異文化コミュニケーション② ～カナディアンバディとの交流から学ぶ①～ カナディアンバディと一緒にトロコ列車に乗りケロウナ最大の果樹園を巡る 終了後、グループワーク(振り返り学習) 終了後、各ステイ先へ <ホームステイ泊>	夕：○ ホームステイ先
4	8/19 (土)	ケロウナ	午前	ホストファミリー送迎	指定場所に集合 □STEP 3 異文化コミュニケーション③ ～カナディアンバディとの交流から学ぶ②～ カナディアンバディと昼食まで一緒に過ごす ファーマーズマーケットでの答え探しゲーム(スカベンジャーハント)&モールでの買い物体験 週2回開催されるファーマーズマーケット(市場)でバディと一緒に宝探しゲームにチャレンジ 昼食：バディと一緒にモールで各自	朝：○ ホームステイ先
			午後		昼食終了後、グループワーク(振り返り学習と異文化コミュニケーションプログラムまとめ) 夕刻：Farewell Party	昼：×各自
			夕刻		ホストファミリーやカナディアンバディを招待してお別れパーティーを開催 ゲームやアトラクションを通し交流 終了後、各ステイ先へ <ホームステイ泊>	夕：○ ホームステイ先
5	8/20 (日)	ケロウナ	終日		終日：ホストファミリーと過ごす最終日 <ホームステイ泊>	朝○ ホームステイ先 昼○ ホームステイ先 夕：○ ホームステイ先

6	8/21 (月)	ケロウナ ケロウナ空港集合	11:30	ホストファミリ -送迎	ケロウナ空港に集合	朝:○ ホームステイ先 昼:×各自 夕:○ レストラン
		ケロウナ空港発	12:50	AC8415	ホストファミリーとお別れをし、搭乗手続き	
		バンクーバー空港着	13:45		空路バンクーバーへ	
		バンクーバー空港発	14:00	専用車	空港到着後、荷物受取	
			14:30		昼食は空港で各自	
			16:00		バス移動にてバンクーバー市内へ	
			17:30		日本企業「リステルホテルカナダ」訪問	
			19:10		終了後、バンクーバーダウンタウンへ	
			19:40		ロブソン通りの自由散策・ショッピング	
			20:50		麒麟レストランにて夕食	
			カナダプレイス・オリンピック聖火台見学			
			ハーバーセンターへ			
			ハーバーセンターで夜景見学			
			終了後、ホテルへ			
			ホテル到着			
			<バンクーバー泊>			
7	8/22 (火)	バンクーバー	10:00	専用車	朝食&荷物整理後、チェックアウト	朝:○ ホテル 昼:×各自 夕:○機内
			10:30		バンクーバー市内へ	
		バンクーバー着	13:15		スタンレーパーク見学(トーテムポール像など)	
		バンクーバー発	16:15	NH0115	カナダ滞在の振り返り(個人発表)	
			プリティッシュコロンビア大学人類学博物館見学			
			終了後、バンクーバー空港へ移動			
			到着後、出国手続き、各自昼食			
			空路、羽田へ			
8	8/23 (水)	羽田空港着	18:20	貸切バス	羽田空港到着後、入国手続き	朝:○機内 昼:○機内 夕:お弁当
		羽田空港発	19:30		貸切バスで途中 SA を経由し広野町へ	
		広野町到着	22:30			

□事前研修会□ テーマ：～コミュニケーション基礎力と異文化理解について～

平成29年7月25日（火） 広野町公民館大会議室

- 9：00 異文化理解ワークショップ
- 13：00 留学生のことを知ろう！（Find your buddy）
- 13：20 カナダについて知ろう！
- 14：00 ウォーミングアップ（Vocabulary Race）
- 14：40 留学生との街歩き体験（留学生に広野町を紹介してみよう）
- 16：20 留学生との交流の感想・御礼

海外教育交流派遣事業に参加する広野中学校2年の生徒たち16名は、カナダへの渡航を約3週間後に控える中、事前に現地でコミュニケーションを図るための基礎や異文化について理解を深めるために、研修を行いました。研修には、首都圏の大学に在学する外国人留学生4名を迎え、一緒にゲーム形式で単語を発声する練習や、広野町を歩きながら生徒自身で町の紹介をするなど、短時間ではありましたが様々に交流を図りました。英語だけでの会話に生徒達は苦戦しながらも、知っている単語やジェスチャーなどを用いながら、なんとか会話を成立させようと頑張っていました。



（異文化理解ワークショップ①）



（異文化理解ワークショップ②）



（異文化理解ワークショップ③）



（異文化理解ワークショップ④）



(留学生のことを知ろう)



(カナダについて知ろう)



(Vocabulary Race①)



(Vocabulary Race②)



(Vocabulary Race③)



(Vocabulary Race④)



(Vocabulary Race⑤)



(Vocabulary Race⑥)



(外国人留学生との町歩き①)



(外国人留学生との町歩き②)



(外国人留学生との町歩き③)



(外国人留学生との町歩き④)



(外国人留学生たちと記念写真)

□広野町中学生海外教育交流派遣事業 派遣団結団式□

平成29年8月10日（木） 広野町役場2階 201会議室

- 16:00～
- (1) 任命書交付
 - (2) 町長あいさつ
 - (3) 引率者紹介
 - (4) 激励の言葉
 - (5) 派遣者代表あいさつ
- 引率者代表 広野中学校長 高瀬 永志
生徒代表 荒川 礼奈

カナダ派遣を直前に控える中、海外教育交流派遣事業に参加する広野中学校2年の生徒たち16名及び同行職員へ団員任命書を交付するため、結団式を開催しました。

当日は、町長及び教育長職務代理者より激励の言葉を頂き、また、派遣者を代表して高瀬永志広野中学校長と生徒代表の荒川礼奈さんがあいさつをしました。



(任命書交付：高瀬校長)



(任命書交付：荒川礼奈)



(派遣者代表あいさつ：高瀬校長)



(派遣者代表あいさつ：荒川礼奈)



カナダ地図 ～BC州～



成田空港からバンクーバー 約9時間
バンクーバーからケロウナ 約1時間



事業の目的：外国の文化、歴史、生活、風土などを直接体験することにより、外国の人々との相互理解と国際協調の精神を養い、国際的感覚の豊かな人材を育成することを目的とする。

派遣国及び帰還：カナダ国プリティッシュコロンビア州 ケロウナ及びバンクーバー
平成29年8月16日（水）～8月23日（水）の6泊8日間

生徒及び引率者：広野町立広野中学校2年生：16名（男子12名・女子4名）
引率者：中学校長及び教諭1名・学校教育課職員3名

- 研修の内容：異文化コミュニケーション（STEP①～④）
- カナダで活躍する日本人移民から学ぶ①（萩ファームでの農作業体験等）
 - カナディアンバディとの交流から学ぶ②（ケロウナ最大の果樹園散策）
 - カナディアンバディとの交流から学ぶ③（市場やスーパーマーケットで買い物体験ゲーム）
 - ホストファミリーとの交流から学ぶ④（2人1組で4日間のホームステイ体験）
 - グループワーク（①～④の振り返りと、まとめの発表）
 - フェアウェルパーティー（ホストファミリーや同世代バディと様々なアトラクションを通して交流）
- 日本企業訪問から学ぶ（バンクーバーにおいて、福島県に本社を置くリステルホテルを訪問し、海外で事業展開する難しさや、やりがいなどグローバルな視点から学ぶ）

1日目 平成29年8月16日(水)

- | | | |
|--------|------------|------------------|
| 14:45～ | バンクーバー空港着 | 入国手続き |
| 15:45～ | バンクーバー空港発 | バスにて市内スーパーマーケットへ |
| 16:00～ | スーパーマーケット着 | 各自夕食の買い出し |
| 17:00 | ホテル着 | |



(出発式の様子)



(バンクーバー空港到着)

羽田空港を出発し、約9時間のフライトを終えバンクーバー空港に到着した生徒たちは、早速スーパーマーケットで夕食の買い出しのため各自、海外での初めての買い物体験をしました。生徒たちは海外では日本製食品の値段が高いことや、レジの環境が日本とは違うことなどに驚きながらも苦労しながらも、無事夕飯の買い出しを終え、初日の宿泊先であるSANDMAN SIGNATUREホテルへチェックインし、1日目を終了しました。



(中国系のスーパーで夕食の買い物)



(スーパーでの買い物の様子①)



(スーパーでの買い物の様子②)



(スーパーでの買い物の様子③)

2日目 平成29年8月17日（木）

- 6：30～ ホテル出発
- 9：10～ バンクーバー空港発
- 10：00～ ケロウナ空港着
- 11：00～ ケロウナ空港発
- 12：00～ オリエンテーション
- 13：15～ 萩ファーム訪問
- 15：30～ 振り返りとまとめ
- 16：15～ ホストファミリーとの対面式

バンクーバー空港へ
国内線にてケロウナへ
荷物受取
バスにて市内へ
ケロウナの町の歴史・文化・風土・気候等を学ぶ
農作業体験等
グループワーク



2日目の早朝、宿泊先のホテルを出発した生徒たちはバンクーバー空港から国内線にてケロウナへと向かいました。到着後、現地スタッフと対面した後、オリエンテーションを行い、ケロウナ市で4日間生活する上での注意事項や町の歴史・文化・風土・気候などを学びました。



(現地スクールバス)



(スクールバスの車内の様子)



(オリエンテーションの様子①)



(オリエンテーションの様子②)



(昼食の様子①)



(昼食の様子②)

午後は、日本からの移民としてケロウナ現地で暮らす、日本人の荻夫婦が経営する農園を訪れました。

ここでは、荻夫婦がカナダ移民としてひたむきに切り拓いてきた暮らしなどについて話を伺い、グループごとに日本とカナダの農業の違いや、移民として開拓するにあたって苦労したことなどについてインタビューをしました。その後、実際に広大な農園で農作業体験もさせていただきました。

生徒たちは、異国の地で逞しく生きている家族の姿を見て感銘を受けた様子でした。



夕方、いよいよホストファミリーとの対面。
対面式の後、生徒たちは緊張の面持ちで各ステイ先へと向かって行きました。

□ホストファミリーと対面





3日目 平成29年8月18日(金)

- 9:00～ ヘリテージミュージアムツアー
- 10:30～ ケロウナダウンタウンウォーキング(自由時間と各自昼食)
- 12:00～ バディと合流し、ディビソン果樹園へ移動(ケロウナ市～バーノン市へ)
- 13:00～ バディとトロッコ列車に乗りながら果樹園見学
- 15:30～ 振り返りとまとめ グループワーク
- 16:30～ ステイ先へ帰宅

3日目の午前、ステイ先から集合した生徒たちは、ケロウナの町の歴史を学ぶため様々な博物館を見学しました。最後に訪問したBC果樹園博物館では、ケロウナ一体の基幹産業である果樹園産業がどのように発展してきたかを学びました。館内には当時の労働の様子を撮影した巨大な写真や昔使用されていたフルーツをカットするための機械などがいくつもあり、生徒たちはとても興味深げに見学していました。最後はゲーム形式で、昔実際に行われていた方法でフルーツの箱詰め体験もさせていただきました。説明は全て英語で行われましたが、生徒たちは楽しみながらも何とか聞き取ろうと真剣に耳を傾けていました。その後、ケロウナの中心地(ダウンタウン)を班ごとに分かれ自由散策し、昼食を摂りました。

□博物館見学の様子□



□ケロウナダウンタウンウォーキングの様子



午後は、4名の同世代カナディアンバディと合流し、ケロウナから北へ約50km離れたバーノン市の郊外で、1933年から経営されているオカナガン地方で最大級の広さを誇る果樹園（デイビソンオーチャードファーム）を訪れ、広大な果樹園をバディと一緒にトロッコ列車に乗りながら見学しました。園内には数十種類のフルーツなどが栽培されており、日本のフルーツとは違った形や色などに生徒たちは驚いていました。

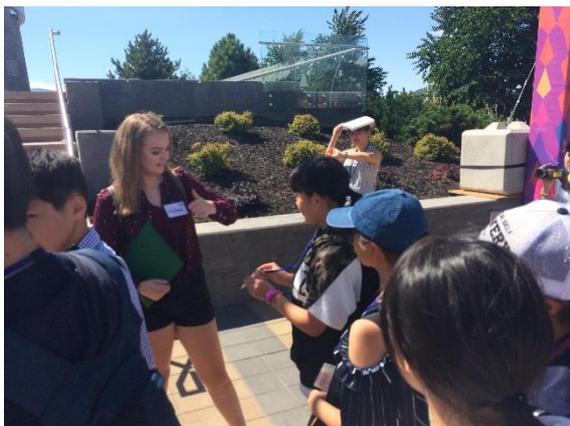
バディとの対面直後は、とても緊張していて会話が弾まなかった生徒たちでしたが、果樹園見学の最後に園のフルーツを使ったアイスクリームをバディと一緒に食べる頃には笑顔で会話するなど大分打ち解けた様子でした。



(バディとの対面①)



(バディとの対面②)



(バディとの対面③)



(バディとの対面④)



(バス車内の様子)



(バス車内からの景色)



(デイビソンオーチャードファーム①)



(デイビソンオーチャードファーム②)



(バディと一緒にトロッコ列車①)



(バディと一緒にトロッコ列車②)



(園内のガイドによる説明の様子)



(バディと一緒にアイスクリーム①)



(バディと一緒にアイスクリーム②)



(バディと一緒にアイスクリーム③)

4日目 平成29年8月19日(土)

- 9:00～ バディと一緒にファーマーズマーケットでスカベンジャーハント
- 11:00～ バディと一緒にモールで買い物体験(自由時間と各自昼食)
- 13:00～ バディと別れ、振り返りとまとめ
- 15:00～ フェアウェルパーティー準備
- 16:00～ フェアウェルパーティー(バディとホストファミリーを招いて)
- 17:00～ ステイ先へ帰宅

4日目の午前、バディと合流した後、ケロウナに住む人達に人気で毎週水曜日と土曜日の2回開催されているファーマーズマーケットに向かいました。地元のファーマーによる新鮮な季節の野菜や果物を始め、様々なアイテムが露天で販売されており、その中で生徒たちはグループ毎に別れ、バディと一緒にスカベンジャーハント(お題に対し答えとなるお店を探し、指定の物を買うゲーム)と呼ばれるゲームし、得点を競い合いました。お題は全て英文で書かれていて、生徒たちはバディに質問するなど協力しながら答えを探していました。

その後、大型ショッピングセンターに移動し、買い物体験や各自バディと昼食を摂るなど交流を深めました。



(ファーマーズマーケット)



(ゲームの説明を聞く生徒たち)



(バディと答え探し①)



(バディと答え探し②)



(バディと答え探し③)



(バディと答え探し④)

午後は、一旦バディと別れ、ケロウナでの4日間を振り返り、「カナダと日本の違い」「カナダに来て思ったこと、感じたこと」を模造紙にグループ毎にまとめ、発表しました。

グループワーク終了後、夕方に行われるフェアウェルパーティーの進行や出し物の段取りの確認を入念に行い、お世話になったバディとホストファミリーを招くため準備を整えました。

フェアウェルパーティーの本番の司会進行は、全て生徒たちが英語で行い、バディやホストファミリーと様々なゲームをしたり、ソーラン節や合唱「旅立ちの日」を披露し、会場は大いに賑わいました。



(グループワークの様子①)



(グループワークの様子②)



(グループワークの様子③)



(グループワークの様子④)



(フェアウェルパーティー進行の練習①)



(フェアウェルパーティー進行の練習②)



(フェアウェルパーティー進行の練習③)



(フェアウェルパーティー進行の練習④)



(フェアウェルパーティー進行の練習⑤)



(お礼の言葉「英文」の練習)



(合唱の練習)



(ソーラン節の練習)





(英語で開会の挨拶)



(英語でゲームの説明)



(会場全員でゲームを楽しむ様子①)



(会場全員でゲームを楽しむ様子②)



(会場全員でゲームを楽しむ様子③)



(会場全員でゲームを楽しむ様子④)



(ソーラン節の披露①)



(ソーラン節の披露②)



(合唱「旅立ちの日に」を披露)



(バディより生徒たちへプレゼント①)



(バディより生徒たちへプレゼント②)



(バディより生徒たちへプレゼント③)



(バディより生徒たちへプレゼント④)



(ホストファミリーと記念写真)



(バディと記念撮影①)



(バディと記念撮影②)

5日目 平成29年8月20日(日)

終日 ホストファミリーと過ごす最終日 自由行動

6日目 平成29年8月21日(月)

- 12:50～ ケロウナ空港出発 国内線にてバンクーバー空港へ
- 13:45～ バンクーバー空港着
- 14:00～ バンクーバー空港発 バスにて市内へ移動
- 14:30～ 日本企業「リステル」訪問
- 16:00～ バンクーバー市内(ロブソン通り)の散策・ショッピング
- 17:30～ 市内レストランにて夕食
- 19:00～ カナダ・プレイスでサンセット・オリンピック聖火台見学
- 19:40～ ハーバーセンター夜景見学
- 20:50～ ホテル着



6日目の午後、お世話になった現地スタッフの見送りを受け、ケロウナ市を後にした生徒たちは、カナダ国内線にてバンクーバーへ到着した後、福島県に本社を置く「リステルホテル」を訪問しました。

リステルホテルでは館内の見学や、日本人副社長よりバンクーバーでホテルを開業することとなったいきさつや、海外で事業を展開することの難しさ、苦労、やりがいなどについて、グローバルな視点から話を伺いました。最後のお礼のあいさつで生徒代表は、「滞在中、言葉の壁を越えるため、ジェスチャーなどを交えながら何とかコミュニケーションを図ってきたが、やはり本当の意味でコミュニケーションを図る上で、英語が重要な言語であると身を以て実感した」と述べ、今後の学校生活において、英語の勉強を今まで以上に頑張ることを誓っていました。





オリンピック聖火台



建国 150 周年看板



カナダプレイス



ハーバーセンター

7日目 平成29年8月22日(火) ※カナダ滞在最終日

10:00～ バンクーバー市内観光
16:15～ バンクーバー空港発 羽田空港へ

カナダ滞在最後のこの日は、「バンクーバーで最大かつ最古の公園」でカナダ国定史跡にも認定されているスタンレーパークを訪れ、カナダの先住民文化と密接な関わりを持つトーテムポールと呼ばれる彫刻の柱などを見学しました。見学の後、生徒たち自身がカナダ滞在中で感じたことなどについて、全員の前で一人一人振り返り、発表しました。プログラムの最後に「世界のアートと文化の地」と呼ばれるカナダで最大の教育的指導を目的とした、ブリティッシュコロンビア大学の人類学博物館を訪れました。博物館には、カナダだけでなくアジア、アフリカ、ヨーロッパ、南米など世界各国の様々な先住民族の作品が展示物としてあり、生徒たちは見学を通じ改めて、日本とは違う異国文化に触れ、カナダでの全プログラムを終了し帰路へとつきました。





(スタンレーパーク①)



(スタンレーパーク②)



(スタンレーパーク③)



(スタンレーパーク④)



(スタンレーパーク⑤)



(スタンレーパーク⑥)



(スタンレーパーク⑦)



(スタンレーパーク⑧)

事後研修会 テーマ：～広野町国際フォーラムセッションにむけて～

平成29年10月7日（土） 広野町役場会議室

- 9：00～ カナダ研修プログラムの振り返り
- 10：00～ タビ아트：海外研修体験を振り返り、次につなげよう
- 13：00～ 国際フォーラム発表に向けた原稿作成
- 15：00～ 国際フォーラムリハーサル

海外教育交流派遣事業に参加した生徒たちは、事後研修のため再び集まりました。帰国から1ヶ月半が経過している事もあり、まず始めにカナダ研修プログラムの振り返りをしました。次に海外研修体験の振り返りとして、「研修前に設定した3つの身につけたい力はどの程度ついたか」、「新しく発見したことや気がついたこと」、「これからの自分がどうありたいか」、「次の海外研修参加者へのアドバイス」、「関係者への感謝の気持ち」などを一人一人表現し、事後研修の最後に、翌週に迫った国際フォーラム「海外研修報告会」で発表するための原稿をグループ毎に作成し、本番会場にて当日のリハーサルを行いました。

□海外研修の振り返り



□海外研修報告会発表原稿作成



□本番リハーサル



国際フォーラム「被災地からのメッセージ」

International Forum “Message from Disaster Affected Areas”

セッション「広野町中学生海外研修報告会」～異文化体験を通して～

開催日時：平成29年10月15日（日）9：00～11：30

開催場所：広野町公民館 2階 大会議室

ファシリテーター (株) グローカルアース代表取締役 藤本 正樹氏

参加者数：約50名

スケジュール

- 8：30 開場
- 9：00 開会
- 9：10～ プログラム説明
- 9：30～ グループディスカッション カナダ滞在体験について外国人留学生達と意見交換
- 10：30～ グループ別発表&質疑（4グループ） 日本とカナダの違いについて
- 11：25～ ファシリテーター講評
- 11：30 閉会

海外派遣事業のプログラムの集大成として、広野町国際フォーラムセッション「中学生海外研修報告会」を開催しました。報告会には、進行役として私立高校教諭、公立中学校の教諭として活躍し、世界を学び自らを深めるため、世界一周放浪の旅に出発し世界5大陸縦横断を果たし、これまで100を超える国と地域を訪問してきた藤本正樹先生や、日本で学んでいる世界7カ国8名の留学生を招き入れました。生徒たちは、グループ毎に別れ留学生たちと「日本と留学生の母国、地域の違いや同じ点について」、「それを踏まえて日本の進むべき将来を考える」という難しいテーマについての話し合いや、事後研修会でグループ毎にまとめたカナダと日本の違いについて様々な観点から発表を行いました。これまでの事前研修会やカナダ国訪問、事後研修会での経験や体験を通し培ってきたグローバルな視点から、臆することなく堂々と意見交換や発表を行っている生徒たちの姿は一回りも二回りも大きく感じられました。

□留学生とのグループディスカッション



□グループ別発表&質疑応答



